

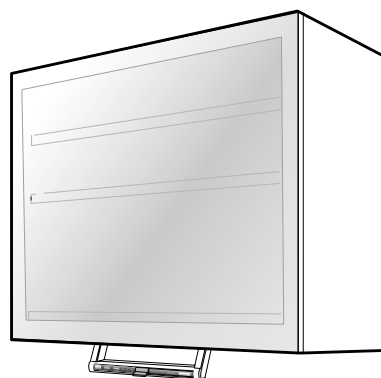
取付・設置説明書

適 応 機 種

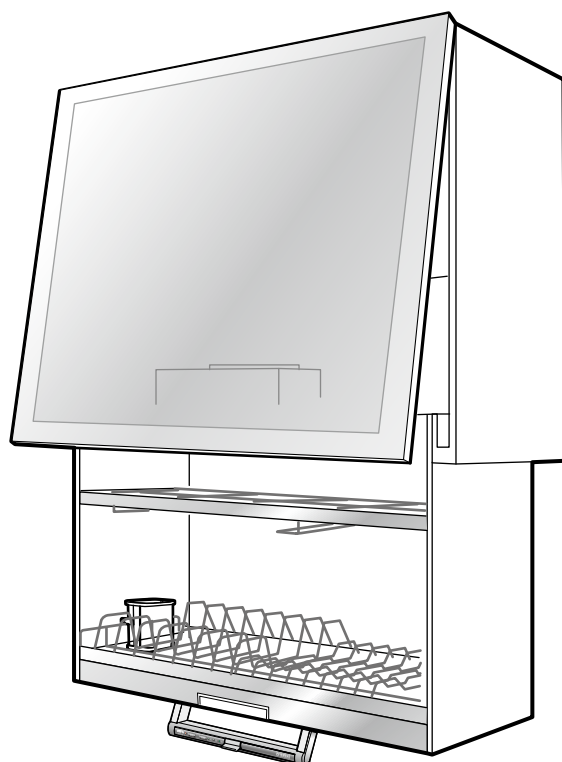
電動昇降吊戸棚

DDSK-901KMSA1K

この取付・設置説明書は商品を正しく取付・設置していただくための手順や方法・注意事項について記載したものです。取付・設置にあたっては内容を確認しながら、確実に安全な取付・設置をお願いします。



収 納 時



目次

1 安全上のご注意.....	2
2 同梱部品の確認	3
3 設置場所の確認	4
4 電気配線工事について	5
5 取付設置手順	6
6 製品外観と寸法.....	19

取付設置される方へお願い

1. 取付設置の前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく設置してください。
2. 設置前に電気配線工事が必要です。あらかじめ行なってください。
3. 電気配線工事は「電気設備技術基準」ならびに「内線規程」に準じ、電気工事登録業者に依頼してください。
4. 本体に同梱されている取扱説明書は、取付設置完了後、必ずお客さまにお渡しください。

1 安全上のご注意

■表示内容を見逃して誤った取付設置や使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で説明しています。



警告

この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。



注意

この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

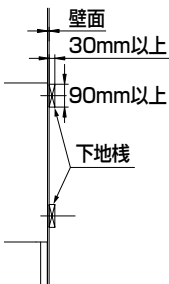
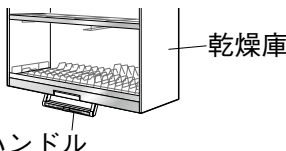
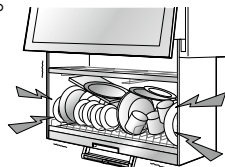
■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



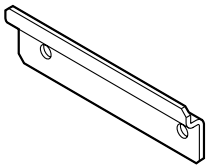
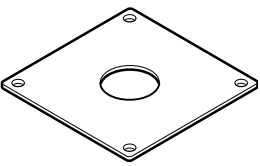
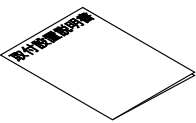
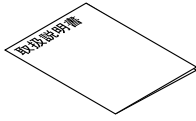
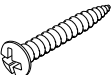
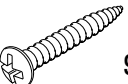
この図記号は、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。



この図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

 警告			
絶対に分解したり修理・改造をしない  発火したり、異常動作してけがをすることがあります。	アース線を必ず取り付け  アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。	壁面取付部には、必ず90×30mm以上の木質材（下地桟）を取り付けて固定する  長期使用中に落下のおそれがあります。 	
乾燥庫、操作ハンドルにぶらさがらない 操作ハンドルに物を掛けない 操作ハンドルを強く引っ張らない 	規定の重量（245N [25kg]）以上のものを載せない  最大積載重量は 25kg です。これ以下でお使いください。長期使用中に落下のおそれがあります。 		
定格 15A・交流 100V の電源を単独で使用する  火災や感電の原因になります。	周辺に可熱物を置いたり可熱性ガスを使用しない 	電源線やアース線、機器内部のコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしない  コードが破損し火災・感電の原因となります。	

2 同梱部品の確認

キャビネット固定金具	配線引き込み口フタ（天面）	取付設置説明書	取扱説明書
 X2	 X1	 X1	 X1
+トラスタッピン 4X15	+トラスタッピン 4X40	+トラスタッピン 5X55	+トラスタッピン 4X6
（横連結用）	（キャビネット固定金具用）	（キャビネット固定用）	（配線引き込み口フタ用）
 X10	 X4	 900 タイプ…X4 1350 タイプ…X6	 X4

3 設置場所の確認

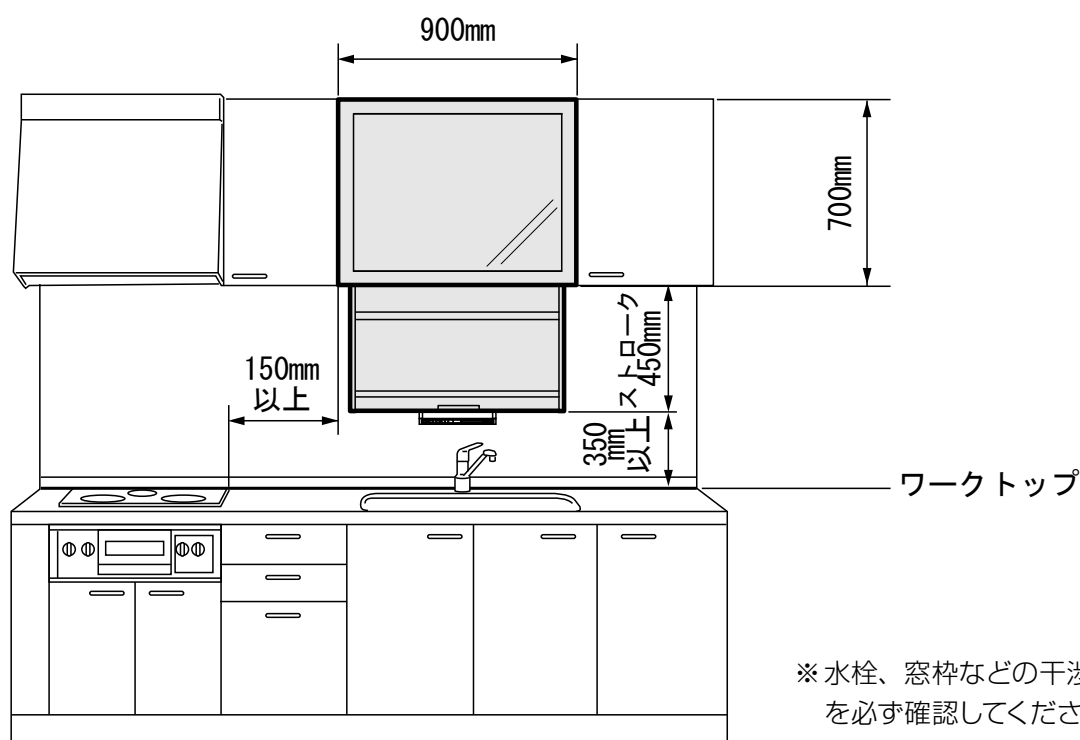
設置に必要なスペース・取り付け位置

⚠ 警告

本体の固定は、壁面への固定を必ず行なう



天吊りのみの固定は、本体の落下のおそれがあります。



※ 水栓、窓枠などの干渉がない事を必ず確認してください。
(窓枠などの、壁からの出寸法は15mm以内とする。)

取り付け寸法・電源取り出し位置

⚠ 警告

下地枠を必ず取り付ける



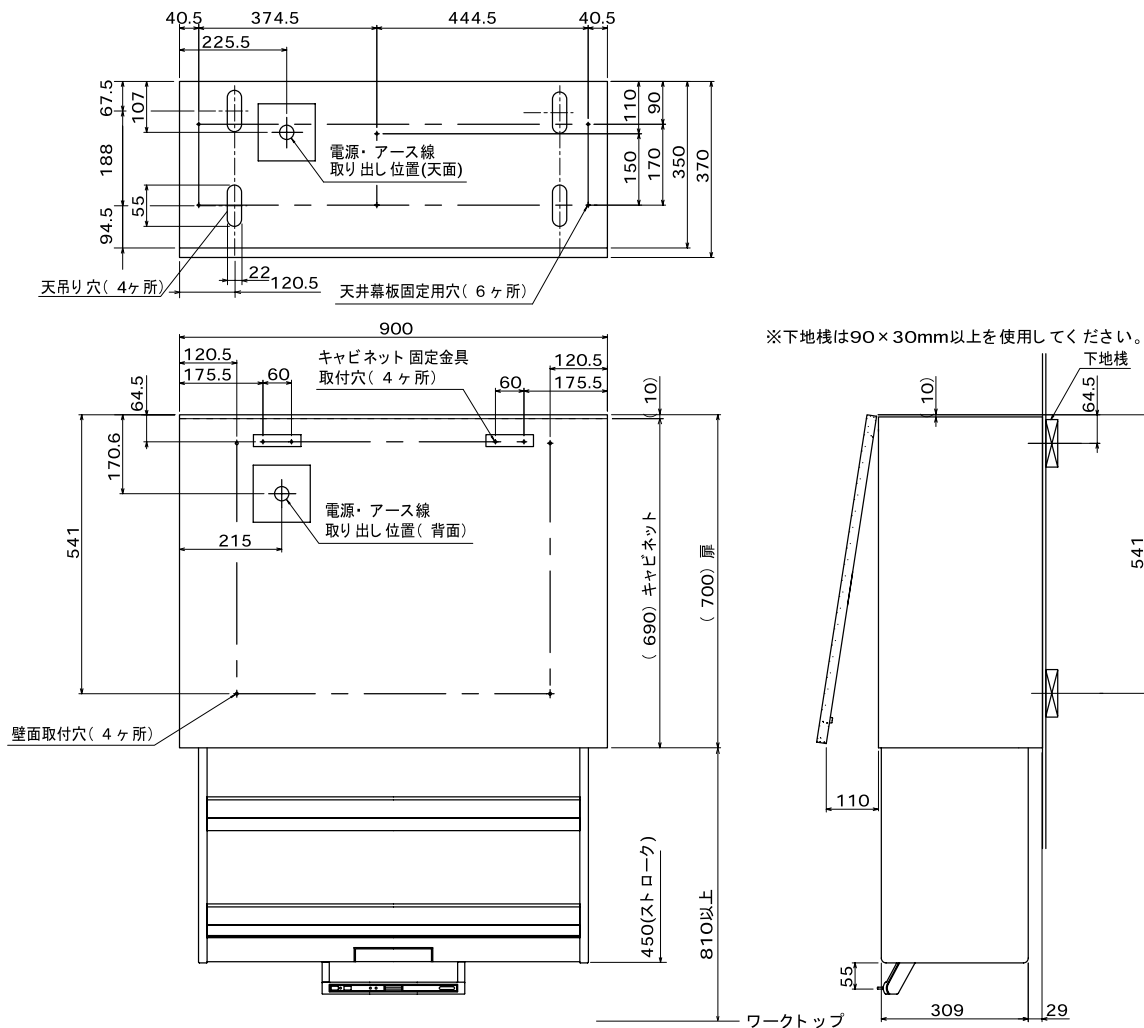
長期使用中に落下のおそれがあります。

⚠ 警告

電源・アース線は必ず指定位置より引き出す。また、電源・アース線が、背板や天板などと干渉しないか必ず確認して取り付ける



電源・アース線を傷付け、感電するおそれがあります。



4 電気配線工事について

電気工事店様へ

工事の前に

- 電動昇降吊戸棚本体取り付け前に、電源線およびアース線を設置し引き出しておきます。ページ4の「取り付け寸法・電源取り出し位置」を参照し、あらかじめ引き出しておいてください。

警告

電気配線工事は必ず電気工事登録業者に依頼する



無資格者が配線工事をされ不備があると、感電や火災の原因になります。

定格 15A・交流 100V の電源を単独で使用する



火災や感電の原因になります。

アース線の接続

警告

アース工事を必ず行なう



アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

- 漏電による万一の感電事故を防止するために、必ずアースを設けてください。
- アース工事は、電気工事士の有資格者によるD種接地工事(設置抵抗 100 Ω以下)を必ずおこなうように法令で定められています。
- 接地工事終了後は必ず接地抵抗を確認してください。

漏電遮断器の設置

- 万一のときの安全のために、漏電遮断器の設置をおすすめします。
- 接地工事および漏電しゃ断器の設置は、電気設備技術基準および内線規定にしたがってください。

5 取付設置手順

栈木の取り付けと確認

⚠ 警告

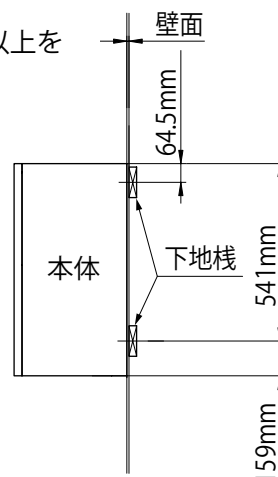
栈木を確実に取り付ける



壁面が石膏ボードの場合は特に注意してください。本体が落下して、重大な事故につながるおそれがあります。

- 本体を取り付けるための木質材（下地栈）を壁面に確実に取り付けてください。

※下地栈は90×30mm以上を使用してください。



本体の取り付け

⚠ 注意

本体を仮固定するまでは、天面を下に向けて床におく



操作ハンドルが破損します。

⚠ 注意

操作ハンドルを持って取付設置しない



操作ハンドル、本体内の機構が破損します。

⚠ 注意

壁面に取り付けるまで動作させない



破損のおそれがあります。

⚠ 注意

本体を落としたり、倒したりしない

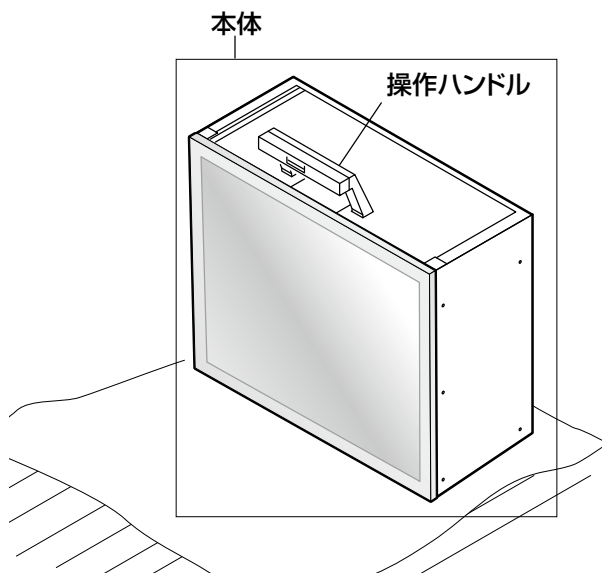


動作異常の原因となります。

1. 本体の仮置き

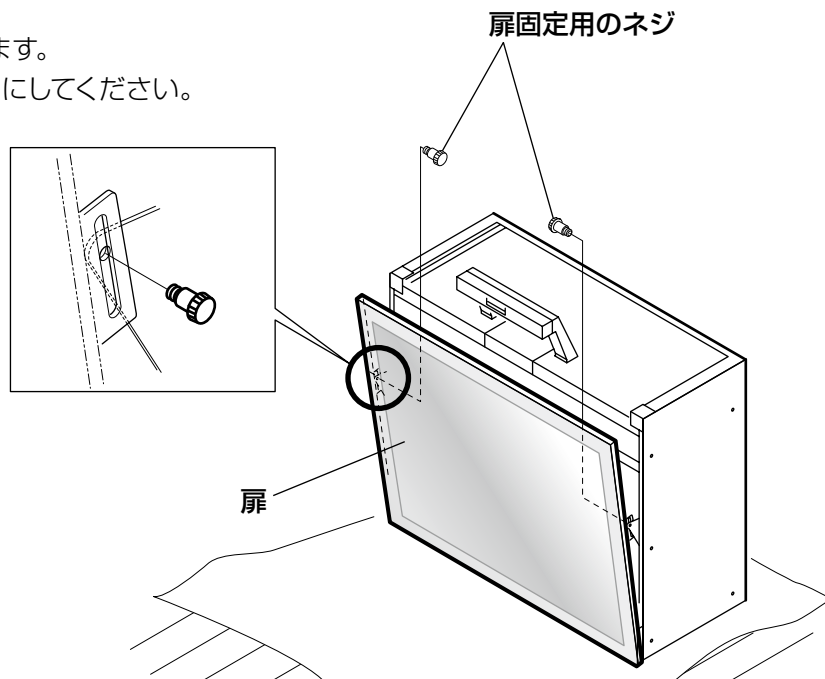
- (1) ダンボールなどを敷き床を養生してから、天面を下に向けて床に置きます。

※養生を行なわないと、扉・本体・床を傷つけるおそれがあります。

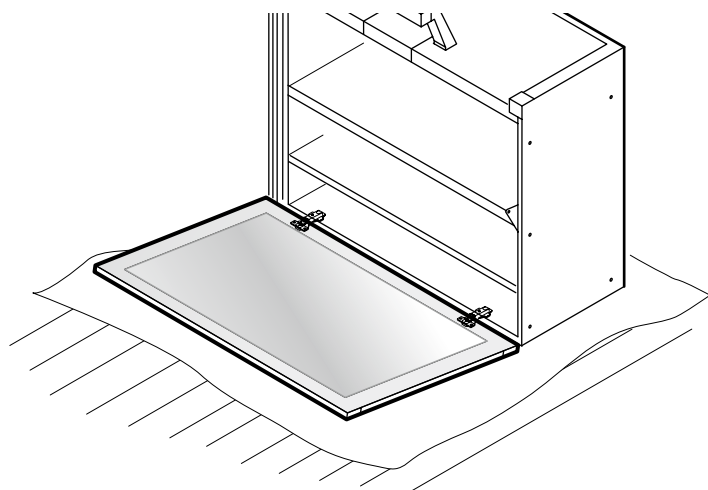


2. 扉の取り外し

- (1) 扉固定用のネジ (左右 2 ケ所) を外します。
※ 後で使用するので、なくさないようにしてください。



- (2) 扉を開けて床に置きます。
※ 傷がつかないように丁寧に置いてください。

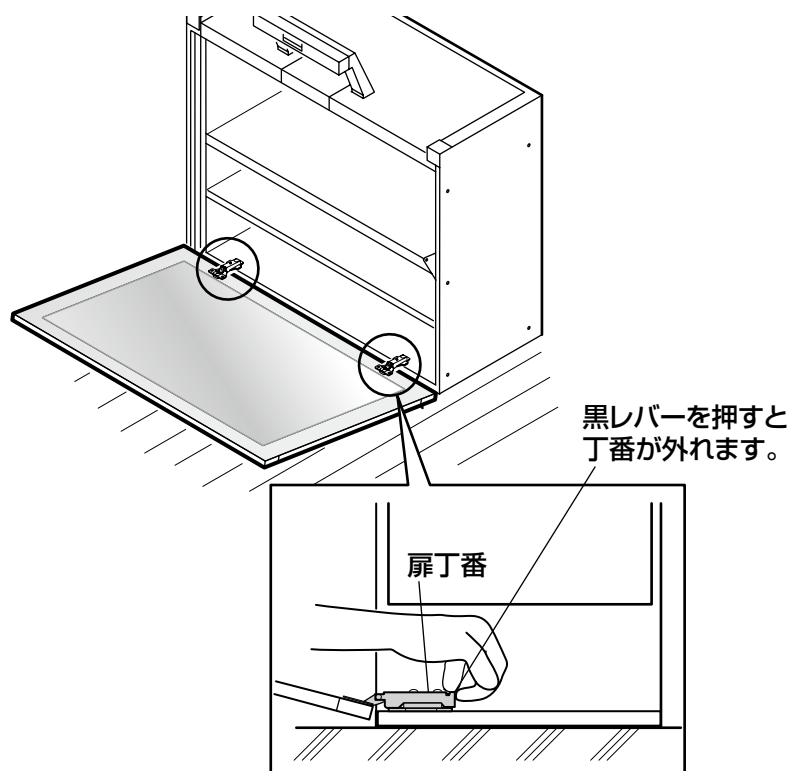


- (3) 扉丁番 (2 ケ所) を外して扉を外します。
※ 黒レバーを押すと丁番が外れます。

⚠ 注意

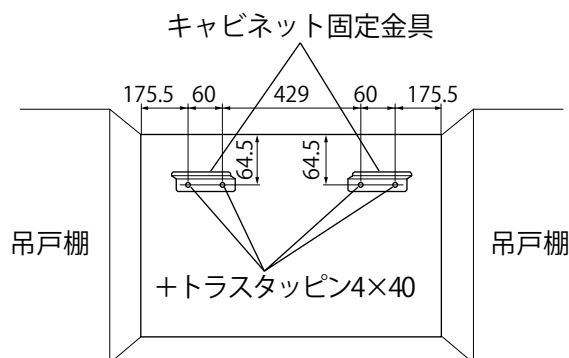
取り外した扉は、取り付ける
まで傷付かない様に養生する

! 扉が傷付くおそれがあります。



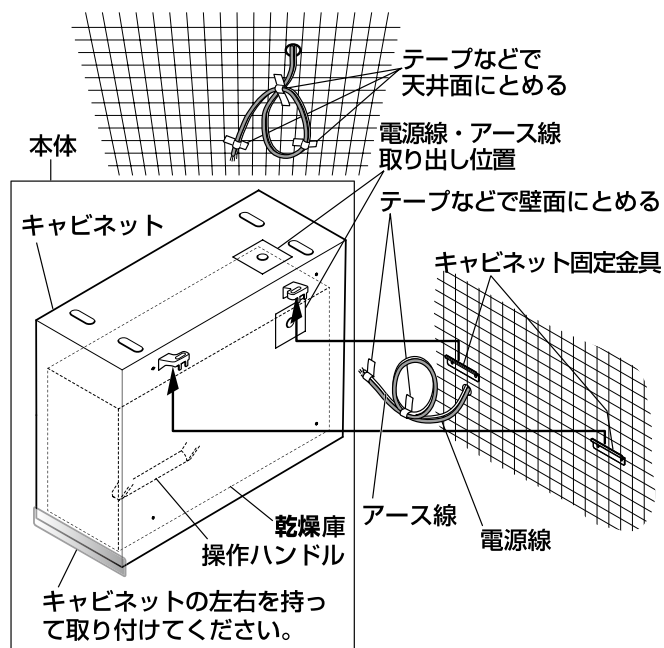
3. キャビネット固定金具の設置

- (1) キャビネット固定金具を+トラスタッピン 4X4Q(4ヶ所)で壁面に取り付けてください。



4. 本体の仮固定

- (1) 壁面または天井面から出ている電源線およびアース線を電源・アース線取り出し位置付近にまとめてください。
※ ページ 5 参照
- (2) 本体を持ち上げ、キャビネット固定金具に本体を引っ掛けてください。
※ 本体を持ち上げるときは、キャビネットの左右を持ち、乾燥庫部分を強く押し上げないでください。



⚠ 警告

電源線・アース線は必ず指定位置より引き出す



指定位置以外より引き出すと、本体と干渉し、断線・感電のおそれがあります。破損のおそれがあります。また動作異常の原因となります。

⚠ 注意

本体を持ち上げるときは、乾燥庫部分を強く押し上げたり、操作ハンドル部を持たない



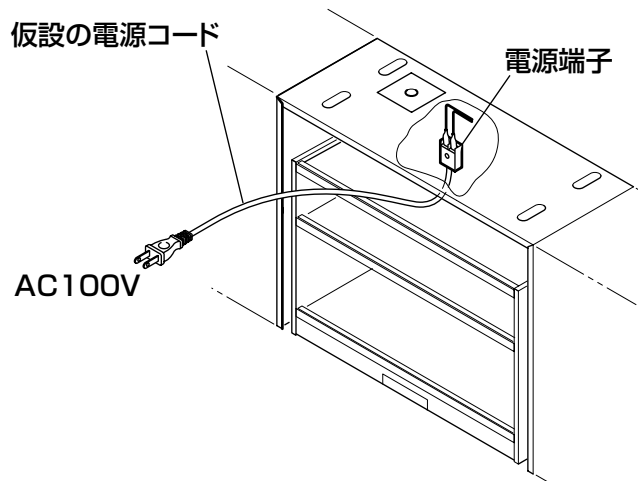
破損のおそれがあります。また動作異常の原因となります。

5. 仮電源の接続

AC100V のコンセントに仮設の電源コードを差し込んでください。

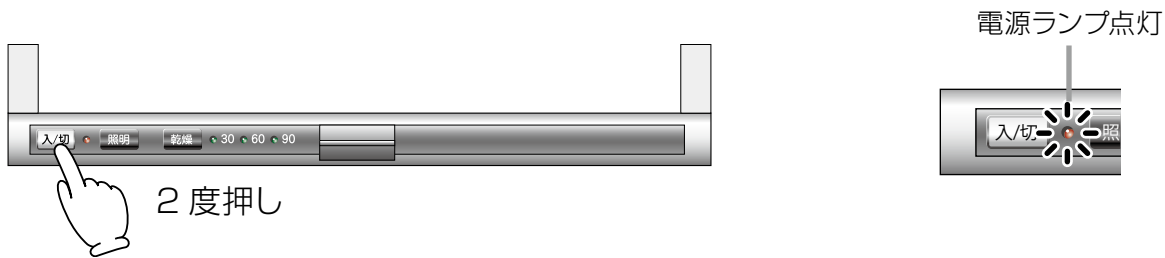
※ 昇降時に電源コードが、干渉しない様に設置してください。

※ 気温が低い所 (5℃以下) か、暑い所 (40℃以上) では、安定して動作させるために、空調機などで温度調整を行なってください。



6. 乾燥庫を最下限まで下げる

(1) 「入／切」スイッチを2度押し、電源を入れてください。電源ランプが点灯します。



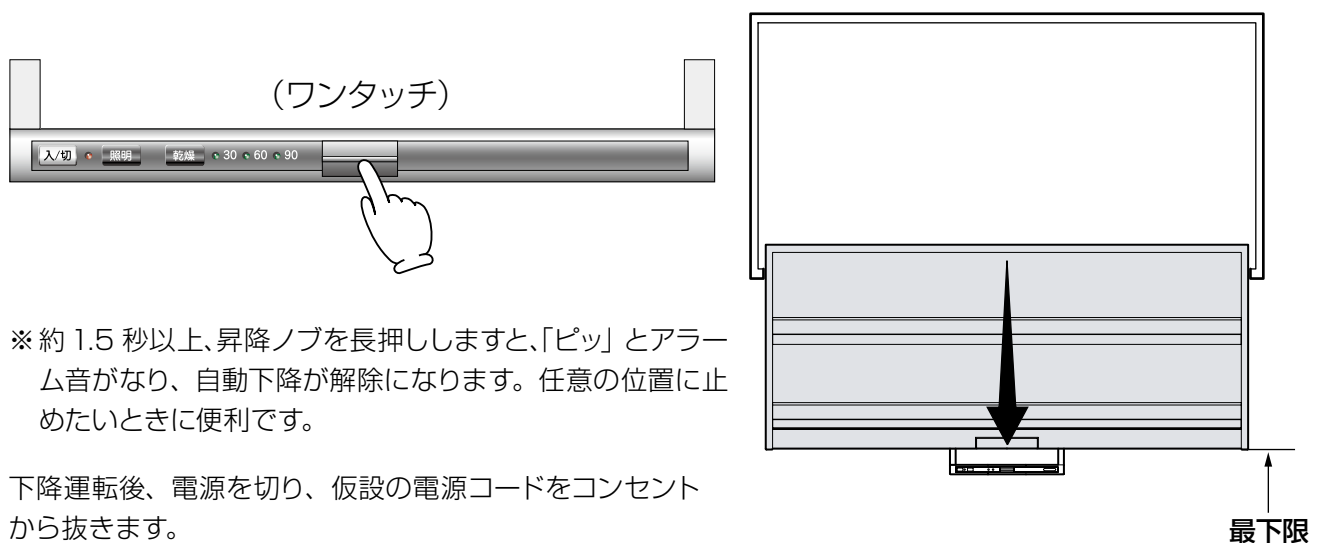
(2) 扉の固定テープをはがした後、操作ハンドルの昇降ノブを下向きにワンタッチして、乾燥庫を最下限まで下げてください。ワンタッチすると、自動的に最下限まで下降運転を行ないます。

※扉の固定テープをはがし忘れるとエラー表示（電源ランプの点滅とブザー）し停止します。

テープをはがし「入／切」スイッチを再度押して復帰させてください。

※途中で止めたい場合は、再度ワンタッチしてください。

※昇降ノブ操作前に、干渉するものがないか確認してください。



※約1.5秒以上、昇降ノブを長押ししますと、「ピッ」とアラーム音になり、自動下降が解除になります。任意の位置に止めたいときに便利です。

(3) 下降運転後、電源を切り、仮設の電源コードをコンセントから抜きます。

⚠ 注意

昇降ノブに無理な力をかけない

⊘

昇降動作不良の原因となります。

⚠ 警告

乾燥庫を昇降するとき以外は、必ず仮設の電源コードをコンセントから抜く

!

誤って動作するおそれがあります。

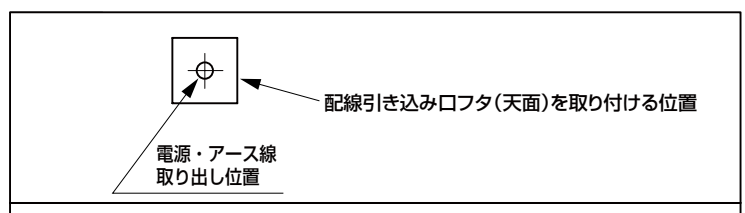
7. 電源線・アース線の引き込み

(1) 電源線およびアース線を引き込みます。

電源コード引き込み位置は天井が標準です。

① キャビネット天面より引き込む場合

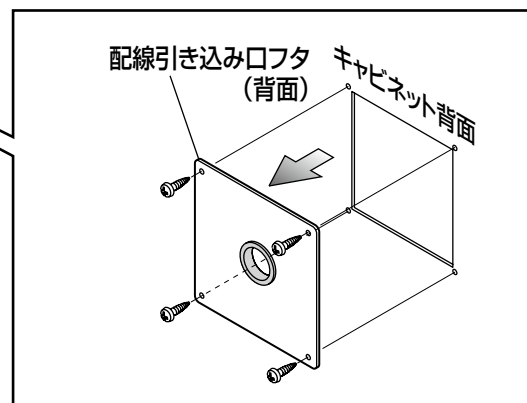
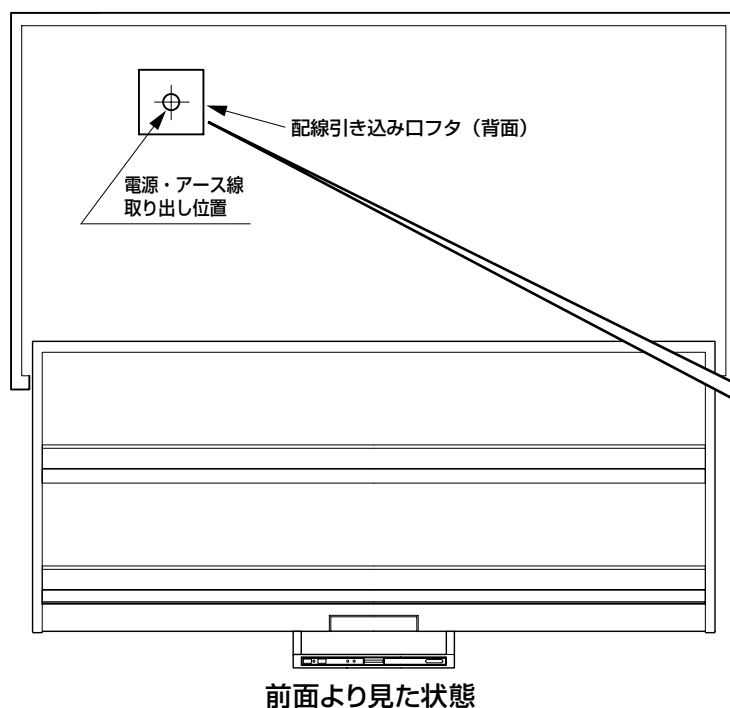
配線引き込み口フタ(天面)及び固定ビスは、同梱部品の中にあります。



天面より見た状態

(月) キャビネット背面より引き込む場合

配線引き込み口フタ（背面）を図のように外します。



(2) 電源線およびアース線を配線引き込み口フタのブッシュから通し、配線引き込み口フタを取り付けます。

※ ブッシュにカッターで切り込みを入れ、電源線およびアース線を通してください。

※ 昇降動作のときに電源線およびアース線が干渉しないことを確認してください。

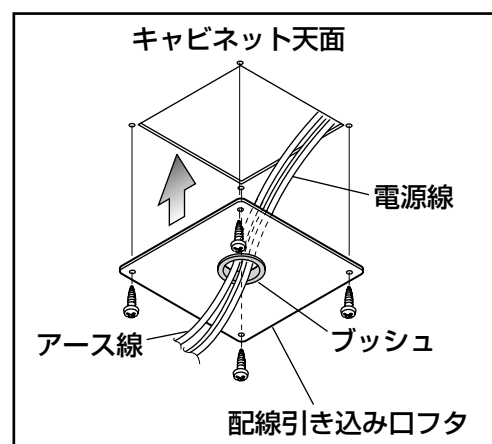
① キャビネット天面より引き込む場合

配線引き込み口フタ（天面）を、右上図のように取り付けます。

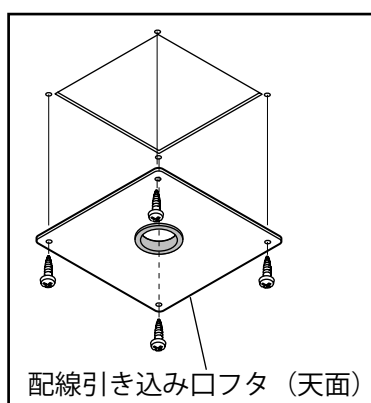
② キャビネット背面より引き込む場合

配線引き込み口フタ（背面）を右下図のように取り付けます。配線引き込み口フタ（天面）も下図のように取り付けます。

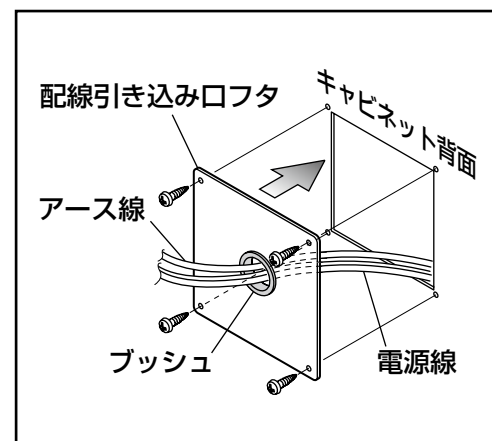
※ 配線引き込み口フタ（天面）は、必ずビス固定を行なってください。



〈キャビネット内部から天面を見た状態〉



〈キャビネット内部から天面を見た状態〉



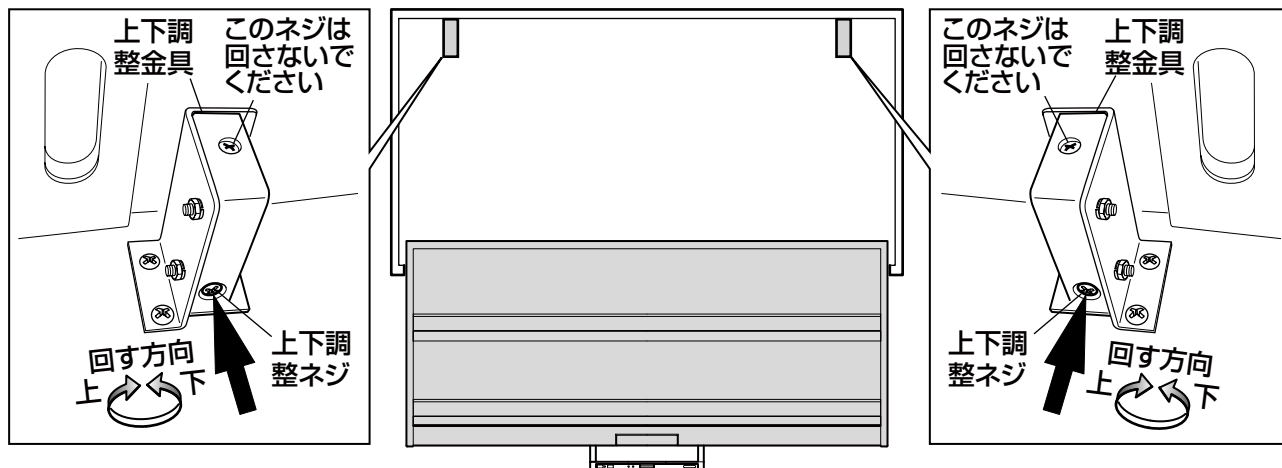
〈キャビネット内部から背面を見た状態〉

※ 引き込んだ電源線およびアース線の配線は、ページ 17 の「2. 電源コードの接続」、「3. アースの接続」に従ってください。

8. レベル出し

上下調整金具下部の上下調整ネジ（左右 2 ケ所）を＋ドライバー（2 番）で、回してレベルを調整します。
※ 電動ドライバーは使用しないでください。また、ねじ山を壊さないように、＋ドライバーを押しながら回してください。

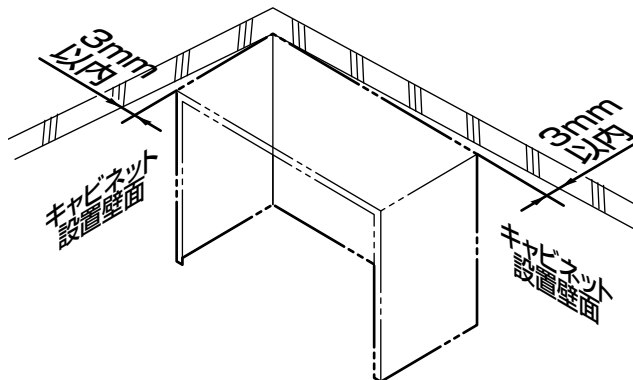
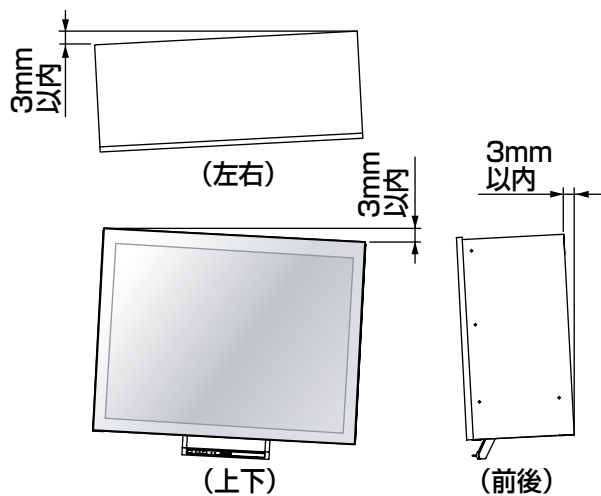
※ 上下調整ネジ（左右 2 ケ所）の調整幅は、合計 12mm までです。調整幅を超える場合は、ページ 8 の「3. キャビネット固定金具の設置」よりやり直して位置出しを行なってください。上下調整金具の調整機構が破損するおそれがあります。



設置壁面のうねり・ひずみは 3mm 以内にしてください。

レベル出しに必要な寸法分の当て木・スペーサなどは、あらかじめキャビネットと壁面との間に取り付けておいてください。

※ 昇降動作がスムーズに行えない原因となります。また、乾燥庫とキャビネットが擦れ、故障する原因となります。



9. 側面のネジ固定

- (1) +トラスタッピン 4X15 (片側 5ヶ所) で本体と隣接するキャビネットまたはサイド化粧板、不燃化粧パネルとを固定してください。

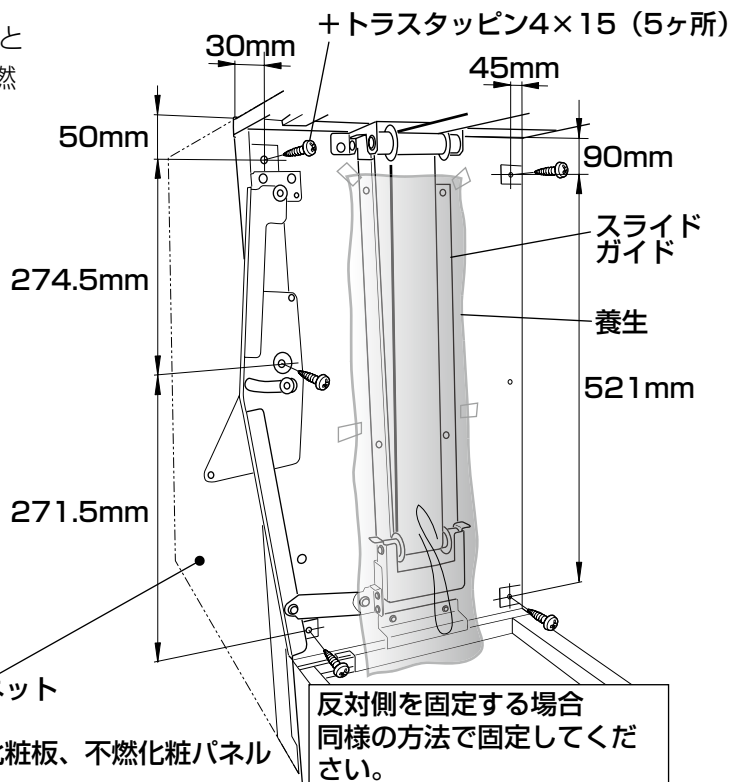
⚠ 注意

スライドガイドに切り粉・ゴミ等が入らないように養生して作業する



故障の原因になります。

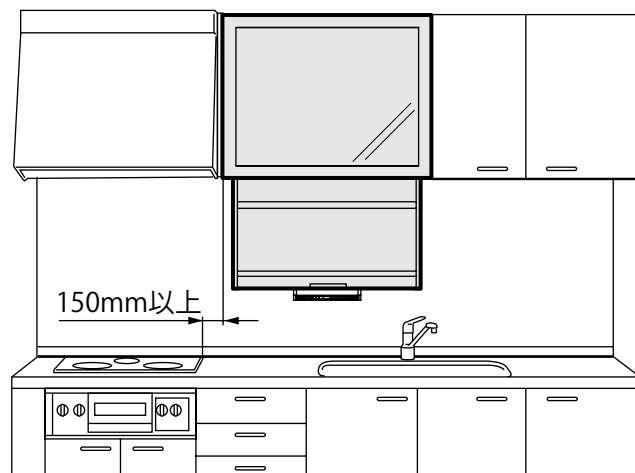
※オートアップ同士を連結する場合は、現地でナベ小ネジ M4 × 15 と M4 ナットを用意し、締結してください。



キャビネット
または
サイド化粧板、不燃化粧パネル

反対側を固定する場合
同様の方法で固定してくだ
さい。

※電動昇降吊戸棚とレンジフードを隣接して接置する場合、お使いの加熱調理機器の取付設置説明書に従い、加熱調理機器からの必要な離隔距離を 150mm 以上保って設置してください。



10. 壁面のネジ固定

+トラスタッピン 5X55 (4ヶ所) で本体が壁に密着するまで完全に固定してください。

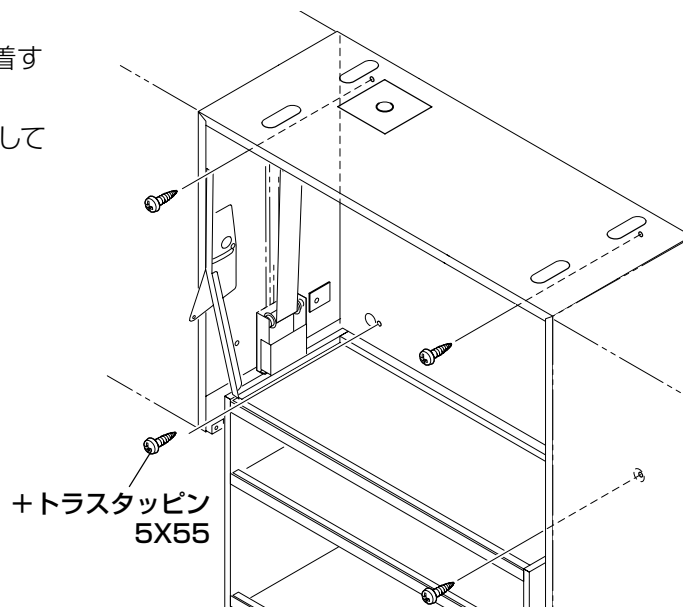
※座面の凹凸やスペーサなどでキャビネットが変形していないか確認しながら固定してください。

⚠ 警告

電源線・アース線をキャビネットおよび+トラスタッピンと干渉させない



火災や感電の原因になります。



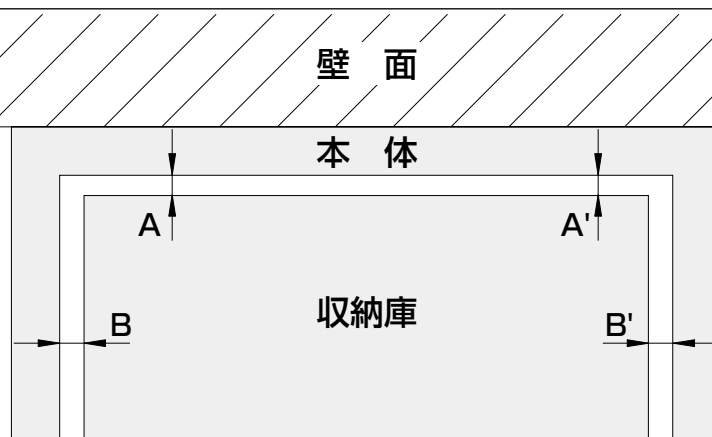
壁面固定後、本体と乾燥庫の位置関係を必ず確認してください。

本体と乾燥庫のすき間 (A-A' および B-B') の差は 3mm 以内で、それぞれのすき間が A-A' は 5mm 以上、B-B' は 3mm 以上であることを確認してください。



レベルが出ていない場合は、レベルを出すところから、必ずやり直す。

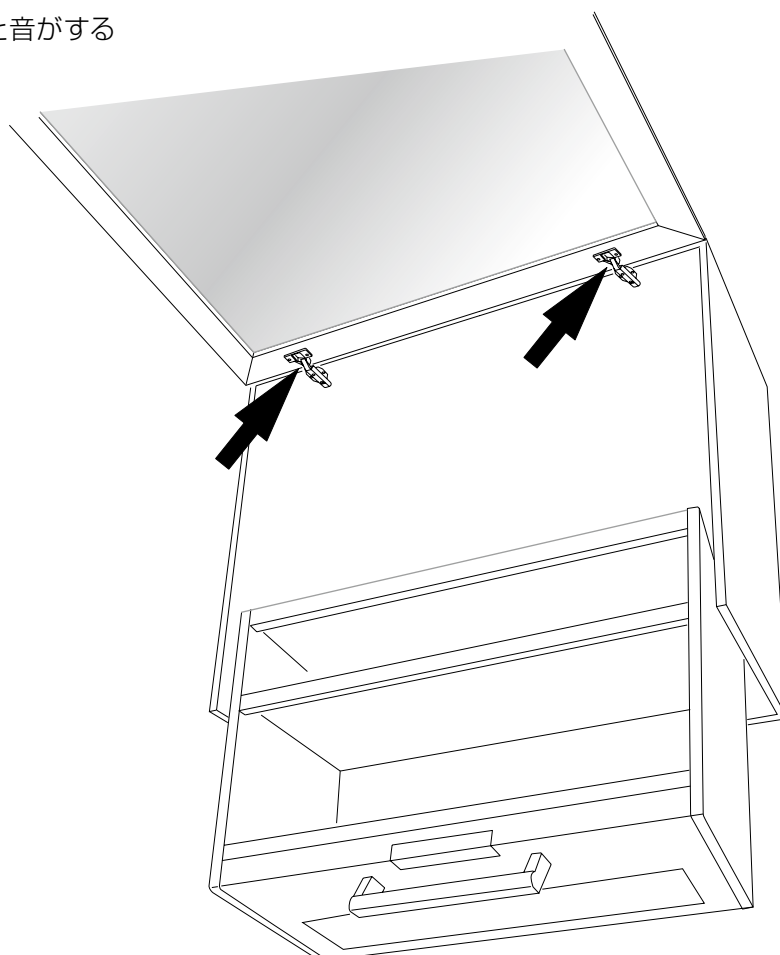
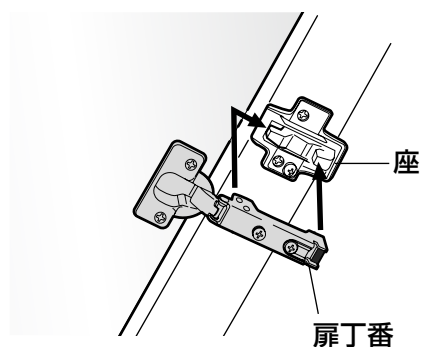
乾燥庫がこすれて傷がつきます。故障の原因になります。



〈電動昇降吊戸棚を下から見た状態〉

11. 扉の取り付け

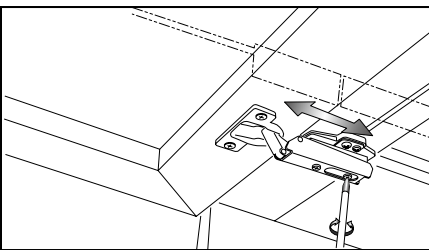
丁番と座を重ね、丁番の上から“カチッ”と音がするまで押し込みます。



12. 扉の位置調整

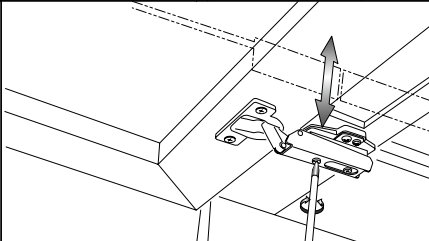
●前後調整

前後調整ネジをゆるめ、扉の前後を合わせた後、再び前後調整ねじをしっかりと締め付けてください。扉が前後に動かない場合は、上下調整ネジを少し緩めてください。



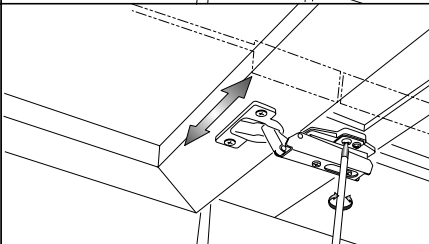
●上下調整

前後調整ネジを締めたまま調整してください。上下調整ネジを時計と反対方向へ回すと扉位置が上がり、時計方向へ回すと扉位置が下がります。調整終了後、必ず前後調整ネジをしっかりと締め直してください。



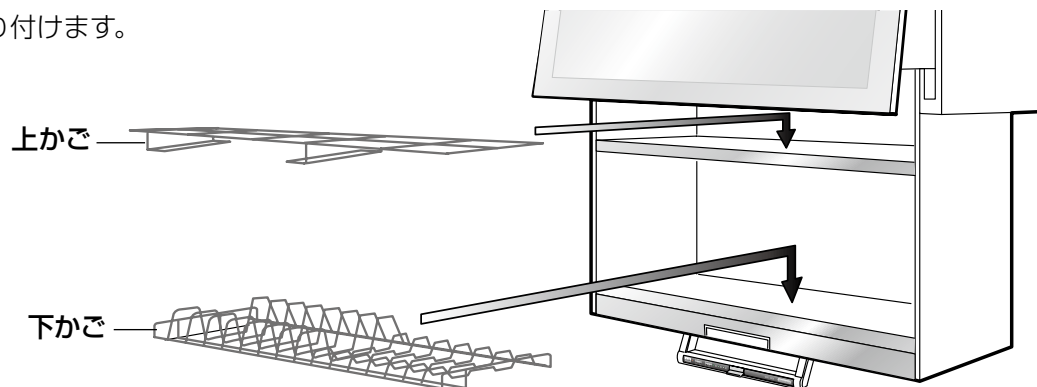
●左右調整

左右調整ネジをゆるめ、座を左右に調整後、再び左右調整ネジをしっかりと締め付けてください。



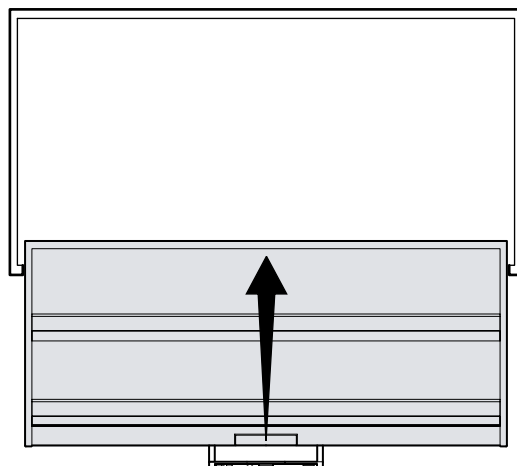
13. かごの取り付け

上かご、下かごを取り付けます。



14. 乾燥庫を最上限まで上げる

- (1) コンセントに仮設の電源コードを差し込み、「入/切」スイッチを押して電源を入れてください。
 - (2) 片手で扉を持ち上げながら、操作ハンドルの昇降ノブを上向きにワンタッチして、乾燥庫を最上限まで上げてください。
- ※途中で止めたい場合は、再度ワンタッチしてください。
- ※昇降ノブ操作前に、干渉するものがないか確認してください。



※約 1.5 秒以上、昇降ノブを長押ししますと、「ピッ」とアラーム音になり、自動上昇が解除になります。任意の位置に止めたいときに便利です。

(3) 上昇運転後、電源を切り、仮設の電源コードをコンセントから抜きます。

**注意**

昇降ノブに無理な力をかけない



昇降動作不良の原因となります。

**警告**

乾燥庫を昇降するとき以外は、必ず仮設の電源コードをコンセントから抜く

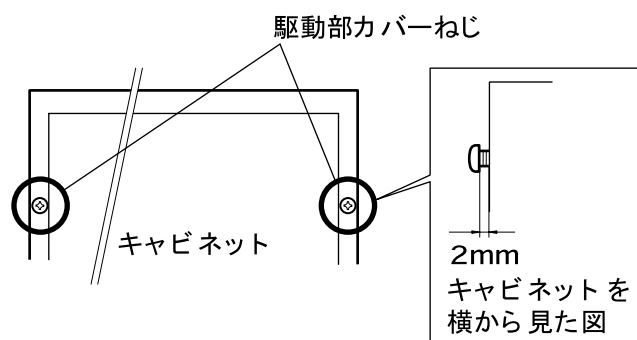


誤って動作するおそれがあります。

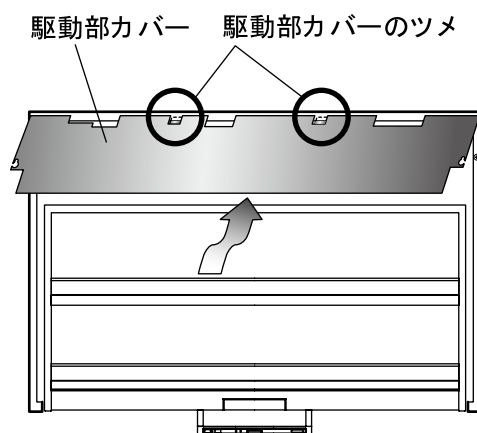
15. 駆動部カバーの取り付け

扉を持ち上げ、駆動部カバーを取り付けます。

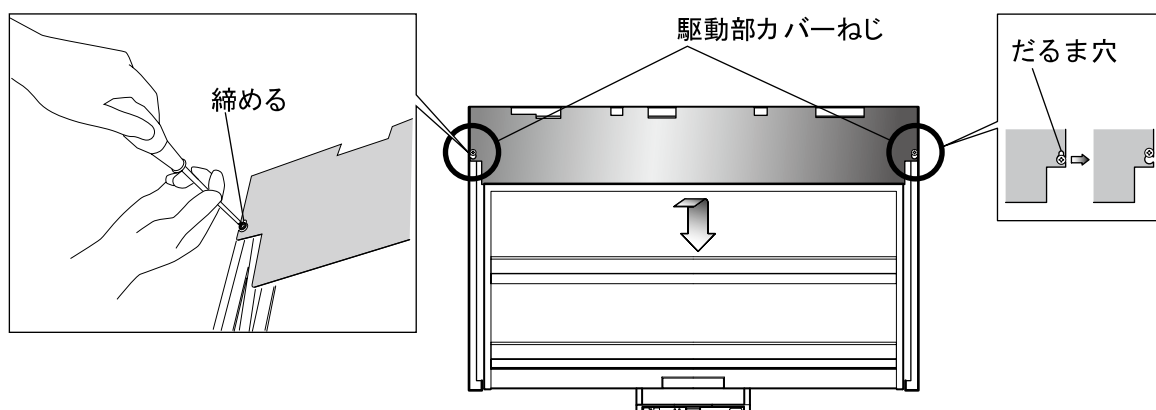
(1) 駆動部カバーねじを、図のように 2mm 程度緩めます。



(2) 駆動部カバーのツメ (2 ケ所) を図の様にキャビネット上縁に差し込みます。



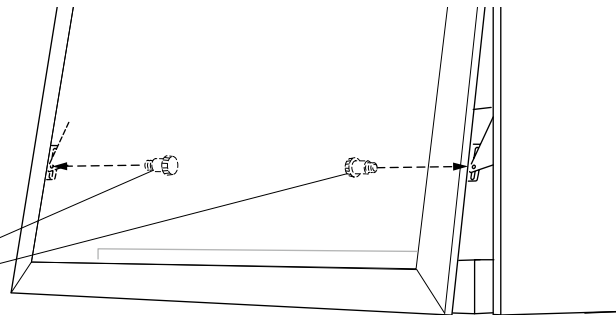
(3) 駆動部カバーねじ (M4 × 6、2 ケ所) に駆動部カバーの
だるま穴を入れ引掛けた後、駆動部カバーねじを完全に
締めます。



16. 扉の固定

ページ 7 の「2. 扉の取り外し」で外した扉固定用のねじを外したときと同じ位置に取り付けてください。

扉固定用のねじ



電気配線工事

電気工事店様へ

警告

電気工事は必ず専門の電気工事登録業者に依頼する



無資格者の電気工事は法律で禁止されています。

アース工事（第 3 種設置工事）やアース線の接続は確実に行う



アース工事が不完全な場合、感電などの重大事故が発生するおそれがあります。

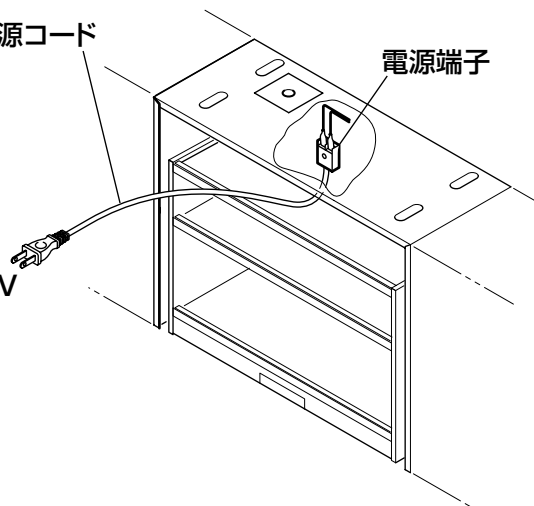
1. 仮設の電源コードの撤去

- (1) ページ 7 の「2. 扉の取り外し」に従って、扉を外してください。
- (2) ページ 8, 9 の「5. 仮電源の接続」および「6. 乾燥庫を最下限まで下げる」に従って、乾燥庫を下げてください。
- (3) 仮設の電源コードをコンセントから抜きます。
- (4) 仮設の電源コードを電源端子の解除ボタンを押しながら引っ張り、電源端子から外してください。

仮設の電源コード

電源端子

AC100V

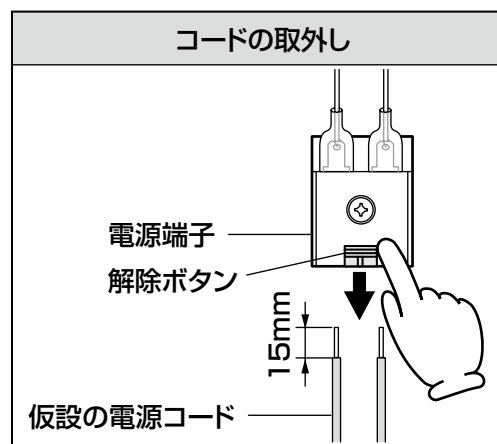


コードの取外し

電源端子
解除ボタン

15mm

仮設の電源コード



2. 電源コードの接続

- (1) 電源線の被覆を 15mm ぐらいむいて、電源端子に確実に差し込んでください。電源線がキャビネット内部でたるまないようにしてください。
- (2) 電源線が確実に差し込まれ抜けないことを確認してください。
また、昇降動作のときに干渉しないことを確認してください。

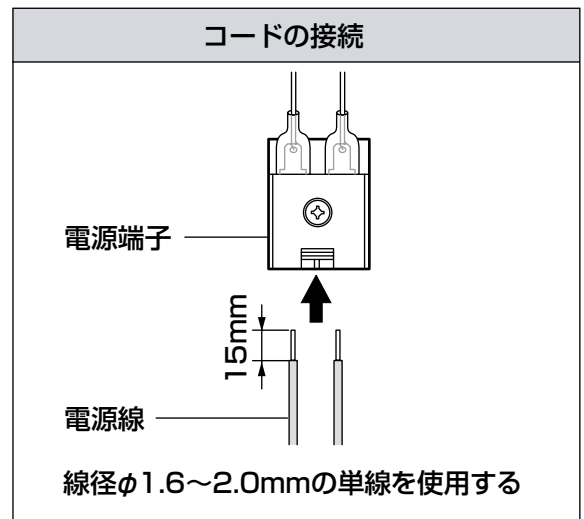


警告

電源線は確実に奥まで差し込む

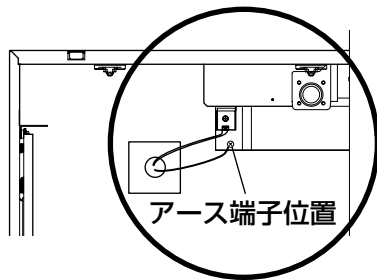


差し込みが十分でなかったり、芯線が電源端子から露出していると、ほこりなどが付着して発火の原因となります。



3. アースの接続

アース端子を使用して必ず接地工事（アース）を実施してください。
アース線がキャビネット内部でたるまないようにしてください。
また、昇降動作のときに干渉しないことを確認してください。

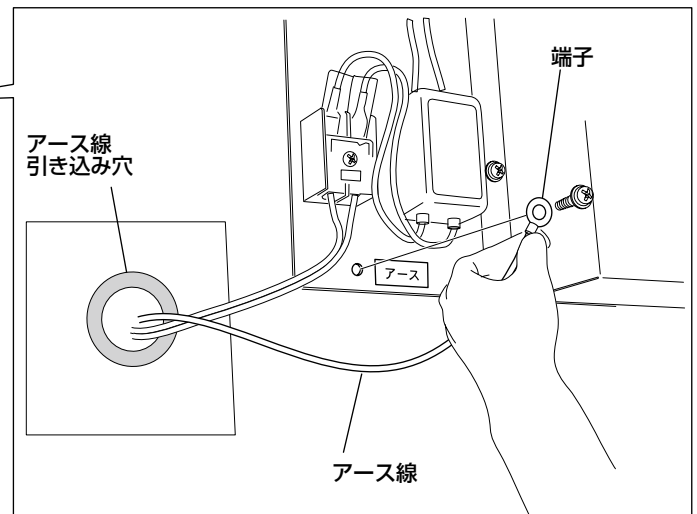


警告

アースを確実に取り付ける



感電するおそれがあります。



警告

アース工事は必ず電気工事登録業者に依頼する



アース工事は電気工事士の資格が必要です。
不完全な工事は感電事故の原因となります。

4. 扉の取り付け

ページ 13 の「11. 扉の取り付け」、ページ 15 の「15. 扉の固定」に従って、扉を取り付けてください。
「扉に付いている養生シートを、表裏ともはがしてください。」

取付設置完了確認

1. 試運転と確認

取付設置が完了しましたら、試運転の前に下記の表に従い再度点検を行なってください。

項目	内容	参照ページ	チェック
キャビネットの固定	キャビネットはしっかりと壁に固定されていますか。	8～13	
扉の取り付け	扉は確実に取り付けられていますか。	13,14,16	
接地工事	接地工事（アース）は実施されていますか。	17	

試運転

- 取扱説明書に従い作動の確認をしてください。
- また、運転中の製品のガタツキやブレ音などが無いことを確認してください。
- 試運転が完了した後、取扱説明書に従いお客様へ正しい使い方や、注意事項を十分説明してください。

2. エラー表示が出た場合の対処

電源ランプが点滅することでエラーを知らせます。

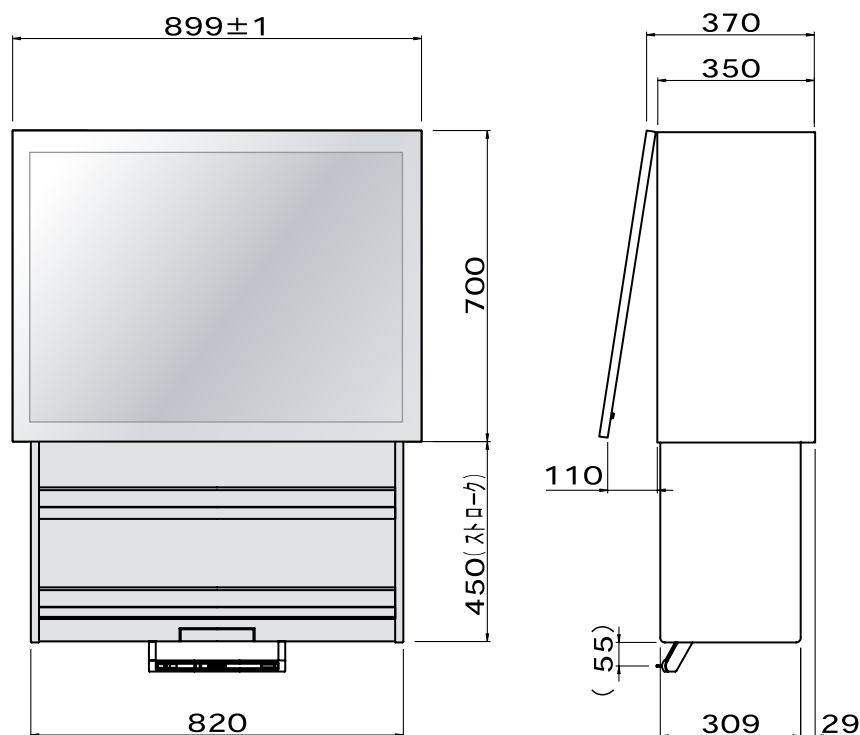


状 態	原 因	処 置
早い点滅（約 0.1 秒間隔） ・昇降の動作途中で急な負荷がかかっている。	上昇途中で物を挟み込んだり、下降途中で障害物と接触したことによるエラーです。	・挟み込み・障害物の負荷を取り除き、「入／切」ボタンを押し、一旦電源を OFF にします。再度「入／切」ボタンを押し電源を ON にしてください。電源ランプが点灯します。
遅い点滅（約 1 秒間隔） ・25kg 以上重量が載っている。	積載重量オーバーによるエラーです。	・積載物を取り除き、一旦電源を OFF にしてから再度電源を ON にしてください。電源ランプが「点灯」に戻ります。
・下降中にラックが引っ掛けて止まっている。	リミットスイッチ（上・中・下 3 つあります）が ON していないことが考えられます。 ラックの上下動作によりリミットスイッチが順次 ON/OFF します。モーターが一定時間以上回転していてもリミットスイッチが ON していないとエラー表示されます。	・リミットスイッチの接続コネクタが外れていないかを確認してください。 ↓ 接続コネクタを取り付け入／切ボタンを押して、一旦電源を OFF にしてから入／切ボタンを押して、再度電源を ON にしてください。電源ランプが「点灯」に戻ります。 ↓ ・リミットスイッチの故障又はケーブルが断線していないかを確認してください。 ↓ 修理が必要です。弊社支店・営業所まで御連絡ください。

6 製品外観と寸法

※取り付け寸法と電源・アース線の引き込み位置は、ページ 4, 5 を参照ください。

DDSK-901KMSA1K



仕様表

品 番		DDSK-901KMSA1K (ドライヤータイプ)
消 費 電 力		450W以下 (乾燥時)
安 全 装 置		過負荷検知、障害物検知、ヒューズ
最大収納重量		245N [25k g]
上 昇 時 間		7.5秒±3
下 降 時 間		8秒±3
昇降ストローク		約450±10mm
扉 の 開 閉		自動開閉式
外形寸法 (mm)	キャビネット	D350 X H700 X W899
	乾 燥 庫	D309 X H530 X W820
蛍 光 灯		インバーター式20W型1灯
製 品 質 量		41k g

食 器 乾 燥 機 能	
乾燥庫内温度	73℃ (参考値)
保 護 装 置	異常温度上昇検知、停電時食器乾燥機能停止
乾 燥 時 間	30、60、90分

株式会社ハウステック

〒173-0004 東京都板橋区板橋 3-9-7(板橋センタービル)
☎(03) 5248-5500

L34S0772GG